

重点事業調書

〔担当部局・課名：教育庁教職員課、指導課〕

（単位：千円）

新夢 プラン 関係	戦略プログラム等	子ども教育プログラム				
	施策・事業名	確かな学力の向上				
重点事業等の名称		学力向上総合推進事業				
予算区分・事項名		C 学力向上総合推進事業費	終期設定 平成 年度			
事業の内容・進め方等	<p>概要 「確かな学力の向上」を図るため、習熟度別指導に係る教員の配置により、きめ細かな指導を充実するとともに、授業改革のための校内研修の支援に重点的に取り組む。</p> <p>(1) 教員・支援員の配置 小1グッドスタート支援事業 《239,716千円》 習熟度別指導に重点をおいた少人数加配 学級編制の弾力化（小5～中3）</p> <p>(2) 岡山県学力向上アクションプラン 《27,645千円》 学力向上検討委員会（年3回） <1,270千円> ・「岡山県学力向上アクションプラン」の検証・改善 学力向上実践校の指定 ・10中学校区(H21・H22指定) ・5中学校区(H22・H23指定) 習熟度別指導の実践 授業改革協力員(国,社,算・数,理,英 約150人)の指定と活用 学習到達度確認テストの実施(算数・数学,読解力) 学校学力向上支援スタッフ巡回事業 2,690千円 (3回/校,4H,5人,90回巡回) ・力量のある退職校長等(5人)を学校に派遣し、学校経営や学級経営等について指導・助言を行う。</p> <p>新 「教科指導の匠」活用事業(3回/校・地域,4H,10人,300回訪問) 3,931千円 ・授業力のある退職教員等(10人)を学校や研修会等に派遣し、模範的な授業や授業力を高めるための専門的な指導・助言を行う。</p> <p>新 学力・学習状況調査事業 12,982千円 ・県内の中学校第1学年の全生徒を対象に、国、社、算、理の学力調査と学習習慣等に関する質問紙調査を実施する。 ・平成22年度に調査問題の作成、平成23年度に調査の実施。</p>					
必要性・事業効果等	<p>現状・県民ニーズ等</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校の授業改革を推進し、その成果を着実に上げていくためには、県独自の学力・学習状況調査を実施することが必要である。 質の高い授業力を継承していくことが求められている。 <p>事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校段階の指導法の見直しや個に応じた指導の工夫改善が期待できる。 児童生徒の学習意欲の向上や個々の能力の伸長が期待できる。 学校経営や学校組織が安定して機能することで落ち着いた学校環境が期待できる。 教員の指導力向上が期待できる。 					
重点指針等	<p><政策重点指針との関係></p> <ul style="list-style-type: none"> 確かな学力の向上を図る施策 					
事業費の見積	区 分	H21予算額	H22予算額	H23見込額	H24見込額	H25以降見込額
	事業費	283,992	267,361	211,760	211,760	211,760
財源	一般財源	195,666	187,698	150,560	150,560	150,560
	その他特定財源	88,326	79,663	61,200	61,200	61,200